

VII 観光動態調査ルート分析

1. はじめに

- 報告書について

この報告書は令和元(平成31)年に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成した(P155:2.立寄り市町村割合)。また、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析した(P163:3.周遊ルート分析)ものである。

- 調査地点について

高知県内の観光地(10 地点:室戸岬、モネの庭、龍河洞、アンパンマンミュージアム、桂浜、高知城、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬)でアンケート調査を実施している。

- 発地ブロックについて

- 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。
各発地ブロックは以下の通りである。

北海道・東北 : 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東 : 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟 : 新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海 : 山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿 : 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国 : 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国 : 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄 : 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外 : すべての海外旅行者

2. 立寄市町村割合

● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した(する予定の)観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
 - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ(%表記)は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
 - 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

01 東洋・室戸	:東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	:奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	:安芸市、芸西村
04 香南	:香南市
05 南国・香美	:南国市、香美市
06 本山・大豊等	:本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	:高知市
08 いの	:いの町
09 土佐・日高	:土佐市、日高村
10 佐川・越知等	:佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	:須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	:梶原町、津野町
13 四万十町	:四万十町
14 黒潮・四万十市	:黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	:宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	:土佐清水市、大月町

- 調査結果の概要

立寄観光地の延べ件数(P157-158)は、9,339件となり、前年の8,608件から8.5ポイントの増加となっている。県内16地域の立寄数は、「高知」が36.4%と最も多く、次いで「南国・香美」が11.9%、「東洋・室戸」が8.8%、「土佐清水・大月」が8.7%、「黒潮・四万十市」が8.3%と続いている。この上位5地域で全体の74.1%を占めている。

発地ブロック別(P157-158)をみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっているが、2番目に多い地域は、北海道・東北、海外が「土佐清水・大月」、近畿、中国、四国が「南国・香美」、その他のブロックが「黒潮・四万十市」と、発地ブロックにより傾向が分かれた。平均立寄数は、北海道・東北と海外が3.3件と最も多く、四国が1.8件と最も少なくなっている。

年代別(P159)をみると、すべての年代で「高知」が最も多くなっており、若い年代ほどその集中度が高くなっている。また、10代から40代は「南国・香美」が、50代は「土佐清水・大月」、60代以上は「東洋・室戸」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、50代が2.5件と最も多く、10代が1.7件と最も少なくなっている。

旅行形態別(P160)をみると、すべての旅行形態で「高知」が最も多くなっている。次いで、“一人”は「土佐清水・大月」が、そのほかの旅行形態は「南国・香美」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、“友人・知人”と“団体”が2.5件と最も多く、“その他”が2.1件と最も少なくなっている。

旅行目的別(P161-162)をみると、“アウトドア”で「黒潮・四万十市」、「神仏霊場」で「土佐清水・大月」、「買い物」で「須崎・中土佐」、そのほかの旅行目的で「高知」が最も多くなっている。平均立寄数は、“神仏霊場”が3.0件と最も多く、“買い物”が1.5件と最も少なくなっている。

2-1. 発地別立寄り市町村割合

(表 2-1)発地別立寄り市町村割合(件)[発地ブロック別]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
北海道・東北 (n=41)	9	4		3	9		77	4			2	1	1	9	3	13	135	1.4	3.3
関東 (n=424)	88	56	7	21	101	5	711	53	2	8	38	20	18	125	6	109	1,368	14.6	3.2
北陸・新潟 (n=21)	2				2		32			2	2	2	2	10		9	63	0.7	3.0
甲信・東海 (n=127)	35	15	2	2	33		171	14		1	12	6	8	45	4	37	385	4.1	3.0
近畿 (n=767)	184	109	14	25	242	3	913	95	9	9	67	21	48	221	22	188	2,170	23.2	2.8
中国 (n=396)	72	50	9	24	129	4	419	39	1	6	51	12	16	80	9	113	1,034	11.1	2.6
四国 (n=2,096)	413	347	35	71	563	12	883	335	10	15	447	10	78	239	45	299	3,802	40.7	1.8
九州・沖縄 (n=117)	17	8	1	5	27	1	171	10	1		9	8	6	43	3	36	346	3.7	3.0
海外 (n=11)	1	2		1	1		22		1				1	3		4	36	0.4	3.3
全体 (n=4,000)	821	591	68	152	1,107	25	3,399	550	24	41	628	80	178	775	92	808	9,339	100.0	2.3

(表 2-2)発地別立寄り市町村割合(%)[発地ブロック別]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
北海道・東北 (n=41)	6.7	3.0		2.2	6.7		57.0	3.0			1.5	0.7	0.7	6.7	2.2	9.6			
関東 (n=424)	6.4	4.1	0.5	1.5	7.4	0.4	52.0	3.9	0.1	0.6	2.8	1.5	1.3	9.1	0.4	8.0			
北陸・新潟 (n=21)	3.2				3.2		50.8			3.2	3.2	3.2	3.2	15.9		14.3			
甲信・東海 (n=127)	9.1	3.9	0.5	0.5	8.6		44.4	3.6		0.3	3.1	1.6	2.1	11.7	1.0	9.6			
近畿 (n=767)	8.5	5.0	0.6	1.2	11.2	0.1	42.1	4.4	0.4	0.4	3.1	1.0	2.2	10.2	1.0	8.7			
中国 (n=396)	7.0	4.8	0.9	2.3	12.5	0.4	40.5	3.8	0.1	0.6	4.9	1.2	1.5	7.7	0.9	10.9			
四国 (n=2,096)	10.9	9.1	0.9	1.9	14.8	0.3	23.2	8.8	0.3	0.4	11.8	0.3	2.1	6.3	1.2	7.9			
九州・沖縄 (n=117)	4.9	2.3	0.3	1.4	7.8	0.3	49.4	2.9	0.3		2.6	2.3	1.7	12.4	0.9	10.4			
海外 (n=11)	2.8	5.6		2.8	2.8		61.1		2.8				2.8	8.3		11.1			
全体 (n=4,000)	8.8	6.3	0.7	1.6	11.9	0.3	36.4	5.9	0.3	0.4	6.7	0.9	1.9	8.3	1.0	8.7			

※ 白抜き はブロックで1位、太字 は同2位

(表 2-3)発地別立寄り市町村割合(%)[四国]

	東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県 (n=215)	18.5	8.5	0.9	2.1	13.8	0.2	31.3	2.8		0.4	6.8	0.4	2.8	4.0	1.5	6.0
香川県 (n=314)	7.3	7.2	1.1	2.5	18.6	0.6	31.2	4.5	1.0	0.1	8.5	0.3	2.4	4.8	1.7	8.1
愛媛県 (n=479)	6.2	7.1	0.9	1.5	14.9	0.4	30.6	8.3	0.2	0.4	8.4	0.4	1.9	6.5	1.5	11.0
高知県 (n=1,088)	13.2	11.5	0.9	1.8	13.3	0.2	12.5	12.8	0.1	0.5	16.9	0.1	1.8	7.5	0.7	6.3
四国 (n=2,096)	10.9	9.1	0.9	1.9	14.8	0.3	23.2	8.8	0.3	0.4	11.8	0.3	2.1	6.3	1.2	7.9

・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で 9,339 件となっている。発地ブロック別にみると、“四国”が 3,802 件(40.7%)と最も多く、次いで、“近畿”が 2,170 件(23.2%)、“関東”が 1,368 件(14.6%)、“中国”が 1,034 件(11.1%)と続いている。

平均立寄数は、“北海道・東北”と“海外”が 3.3 件と最も多く、次いで、“関東”が 3.2 件、“北陸・新潟”、“甲信・東海”、“九州・沖縄”が 3.0 件と続いており、“四国”が 1.8 件と最も少なくなっている。

・上位を占めた立寄市町村

立寄った観光地の市町村をみると、「高知」が 3,399 件(36.4%)と最も多く、次いで「南国・香美」が 1,107 件(11.9%)、「東洋・室戸」が 821 件(8.8%)、「土佐清水・大月」が 808 件(8.7%)、「黒潮・四万十市」が 775 件(8.3%)と続いている。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄った観光地の市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。2番目に多くなった市町村は、“北海道・東北”と“海外”が「土佐清水・大月」、「近畿」、「中国」、「四国」が「南国・香美」、その以外の発地ブロックが「黒潮・四万十市」となっている。

なお、“県内旅行者”は「須崎・中土佐」、「南国・香美」、「東洋・室戸」、「いの」、「高知」の順で多くなっている(P157:表 2-3)。

2-2. 年代別立寄市町村割合

(表 2-4)年代別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=59)	9	6		5	11		50	6			4	1		5		3	100	1.1	1.7
20代 (n=426)	79	67	7	12	112		474	43	2	8	61	16	9	75	4	70	1,039	11.1	2.4
30代 (n=762)	128	79	12	29	353	3	656	95	1	10	89	12	36	152	7	140	1,802	19.3	2.4
40代 (n=923)	181	104	12	42	296	6	782	119	3	10	126	21	32	212	11	202	2,159	23.1	2.3
50代 (n=860)	180	173	21	35	186	8	751	130	11	10	151	10	48	168	30	201	2,113	22.6	2.5
60代以上 (n=970)	244	162	16	29	149	8	686	157	7	3	197	20	53	163	40	192	2,126	22.8	2.2
全体 (n=4,000)	821	591	68	152	1,107	25	3,399	550	24	41	628	80	178	775	92	808	9,339	100.0	2.3

(表 2-5)年代別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=59)	9.0	6.0		5.0	11.0		50.0	6.0			4.0	1.0		5.0		3.0			
20代 (n=426)	7.6	6.4	0.7	1.2	10.8		45.6	4.1	0.2	0.8	5.9	1.5	0.9	7.2	0.4	6.7			
30代 (n=762)	7.1	4.4	0.7	1.6	19.6	0.2	36.4	5.3	0.1	0.6	4.9	0.7	2.0	8.4	0.4	7.8			
40代 (n=923)	8.4	4.8	0.6	1.9	13.7	0.3	36.2	5.5	0.1	0.5	5.8	1.0	1.5	9.8	0.5	9.4			
50代 (n=860)	8.5	8.2	1.0	1.7	8.8	0.4	35.5	6.2	0.5	0.5	7.1	0.5	2.3	8.0	1.4	9.5			
60代以上 (n=970)	11.5	7.6	0.8	1.4	7.0	0.4	32.3	7.4	0.3	0.1	9.3	0.9	2.5	7.7	1.9	9.0			
全体 (n=4,000)	8.8	6.3	0.7	1.6	11.9	0.3	36.4	5.9	0.3	0.4	6.7	0.9	1.9	8.3	1.0	8.7			

※ 白抜き は年代で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、40代が2,159件(23.1%)と最も多く、次いで、60代以上が2,126件(22.8%)、50代が2,113件(22.6%)、30代が1,802件(19.3%)、20代が1,039件(11.1%)、10代が100件(1.1%)と続いている。

平均立寄数は、50代が2.5件と最も多く、次いで20代と30代が2.4件、40代が2.3件、60代以上が2.2件、10代が1.7件と続いている。

・年代ごとの立寄市町村の傾向

すべての年代で「高知」が最も多く、年代が低くなるにつれて、占める割合が多くなっている。次いで、10代から40代までは「南国・香美」が、50代は「土佐清水・大月」、60代以上は「東洋・室戸」が多くなっている。

- 10代:「高知」、「香南」で年代別の1位となっている。
- 20代:「梶原・津野」、「佐川・越知等」で年代別の1位、「高知」で2位となっている。
- 30代:「南国・香美」で年代別の1位、「佐川・越知等」、「黒潮・四万十市」で2位となっている。
- 40代:「黒潮・四万十市」で年代別の1位、「南国・香美」などで2位となっている。
- 50代:「奈半利・田野等」、「土佐清水・大月」などで年代別の1位となっている。
- 60代以上:「東洋・室戸」、「いの」、「須崎・中土佐」などで年代別の1位となっている。

2-3. 旅行形態別立寄市町村割合

(表 2-6)旅行形態別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,773)	537	417	50	126	896	16	2,228	367	18	30	470	38	118	510	59	531	6,411	68.6	2.3
友人・知人 (n=550)	116	76	9	11	120	2	619	83	2	5	104	19	17	106	5	103	1,397	15.0	2.5
団体 (n=54)	9	8	2		10		87	4			2	1		6		4	133	1.4	2.5
その他 (n=39)	5	7		2	11	2	37	7			4			5		1	81	0.9	2.1
一人 (n=584)	154	83	7	13	70	5	428	89	4	6	48	22	43	148	28	169	1,317	14.1	2.3
全体 (n=4,000)	821	591	68	152	1,107	25	3,399	550	24	41	628	80	178	775	92	808	9,339	100.0	2.3

(表 2-7)旅行形態別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,773)	8.4	6.5	0.8	2.0	14.0	0.2	34.8	5.7	0.3	0.5	7.3	0.6	1.8	8.0	0.9	8.3			
友人・知人 (n=550)	8.3	5.4	0.6	0.8	8.6	0.1	44.3	5.9	0.1	0.4	7.4	1.4	1.2	7.6	0.4	7.4			
団体 (n=54)	6.8	6.0	1.5		7.5		65.4	3.0			1.5	0.8		4.5		3.0			
その他 (n=39)	6.2	8.6		2.5	13.6	2.5	45.7	8.6			4.9			6.2		1.2			
一人 (n=584)	11.7	6.3	0.5	1.0	5.3	0.4	32.5	6.8	0.3	0.5	3.6	1.7	3.3	11.2	2.1	12.8			
全体 (n=4,000)	8.8	6.3	0.7	1.6	11.9	0.3	36.4	5.9	0.3	0.4	6.7	0.9	1.9	8.3	1.0	8.7			

※ 白抜きは旅行形態で1位、太字は同2位

・立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、“家族”が6,411件(68.6%)と最も多く、次いで、“友人・知人”が1,397件(15.0%)、“一人”が1,317件(14.1%)、“団体”が133件(1.4%)、“その他”が81件(0.9%)と続いている。

平均立寄数は、“友人・知人”と“団体”が2.5件と最も多く、次いで、“家族”と“一人”が2.3件、“その他”が2.1件と続いている。

・旅行形態ごとの立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多く、次いで、“一人”が「土佐清水・大月」、そのほかの旅行形態が「南国・香美」と続いている。

- 家族:「南国・香美」などで旅行形態別の1位、「土佐清水・大月」などで2位となっている。
- 友人・知人:「須崎・中土佐」で旅行形態別の1位、「梶原・津野」で2位となっている。
- 団体:「高知」が半数以上を占めて旅行形態別の1位となっており、立寄市町村が限られている。
- その他:「奈半利・田野等」、「本山・大豊等」、「いの」、「香南」で旅行形態別の1位となっている。
- 一人:「東洋・室戸」、「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」などで旅行形態別の1位となっている一方で、「高知」、「南国・香美」などで最も少なくなっている。

2-4. 旅行目的別立寄市町村割合

(表 2-8)旅行目的別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=725)	151	241	22	23	138	4	515	122	1	9	40	33	29	183	8	260	1,779	19.0	2.5
休養 (n=228)	37	32	1	6	46	2	163	36	1	2	74	6	12	46	2	47	513	5.5	2.3
祭り (n=145)	18	10	3	9	49	4	157	33		3	5	1	5	20		13	330	3.5	2.3
アウトドア (n=159)	28	7	3	5	17	3	73	45		2	15	2	2	80	1	62	345	3.7	2.2
スポーツ (n=11)	2	2	1	2	4		8	1									21	0.2	1.9
食べ物 (n=648)	89	54	8	8	124		753	76	3	8	281	12	17	117	1	84	1,635	17.5	2.5
神仏霊場 (n=147)	63	18	1	6	23		45	5	17		8		57	16	65	115	439	4.7	3.0
買い物 (n=229)	59	12	1		17	1	57	49		3	90		4	47		5	345	3.7	1.5
名所旧跡 (n=890)	167	93	22	66	510	7	1,160	51		9	32	8	18	97	4	91	2,335	25.0	2.6
なんとなく (n=342)	104	52	4	10	57	4	126	82	1	3	33	14	19	62	9	81	661	7.1	1.9
観光・その他 (n=37)	7	6		1	10		32	4			2			3		3	68	0.7	1.8
帰省・仕事 (n=375)	85	55	2	16	105		262	34	1	2	44	3	15	90	2	42	758	8.1	2.0
その他 (n=64)	11	9			7		48	12			4	1		13		5	110	1.2	1.7
全体 (n=4,000)	821	591	68	152	1,107	25	3,399	550	24	41	628	80	178	775	92	808	9,339	100.0	2.3

(表 2-9)旅行目的別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=725)	8.5	13.5	1.2	1.3	7.8	0.2	28.9	6.9	0.1	0.5	2.2	1.9	1.6	10.3	0.4	14.6			
休養 (n=228)	7.2	6.2	0.2	1.2	9.0	0.4	31.8	7.0	0.2	0.4	14.4	1.2	2.3	9.0	0.4	9.2			
祭り (n=145)	5.5	3.0	0.9	2.7	14.8	1.2	47.6	10.0		0.9	1.5	0.3	1.5	6.1		3.9			
アウトドア (n=159)	8.1	2.0	0.9	1.4	4.9	0.9	21.2	13.0		0.6	4.3	0.6	0.6	23.2	0.3	18.0			
スポーツ (n=11)	9.5	9.5	4.8	9.5	19.0		38.1	4.8											
食べ物 (n=648)	5.4	3.3	0.5	0.5	7.6		46.1	4.6	0.2	0.5	17.2	0.7	1.0	7.2	0.1	5.1			
神仏霊場 (n=147)	14.4	4.1	0.2	1.4	5.2		10.3	1.1	3.9		1.8		13.0	3.6	14.8	26.2			
買い物 (n=229)	17.1	3.5	0.3		4.9	0.3	16.5	14.2		0.9	26.1		1.2	13.6		1.4			
名所旧跡 (n=890)	7.2	4.0	0.9	2.8	21.8	0.3	49.7	2.2		0.4	1.4	0.3	0.8	4.2	0.2	3.9			
なんとなく (n=342)	15.7	7.9	0.6	1.5	8.6	0.6	19.1	12.4	0.2	0.5	5.0	2.1	2.9	9.4	1.4	12.3			
観光・その他 (n=37)	10.3	8.8		1.5	14.7		47.1	5.9			2.9			4.4		4.4			
帰省・仕事 (n=375)	11.2	7.3	0.3	2.1	13.9		34.6	4.5	0.1	0.3	5.8	0.4	2.0	11.9	0.3	5.5			
その他 (n=64)	10.0	8.2			6.4		43.6	10.9			3.6	0.9		11.8		4.5			
全体 (n=4,000)	8.8	6.3	0.7	1.6	11.9	0.3	36.4	5.9	0.3	0.4	6.7	0.9	1.9	8.3	1.0	8.7			

※ 白抜き は旅行目的で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が2,335件(25.0%)と最も多く、次いで、“自然見物”が1,779件(19.0%)、“食べ物”が1,635件(17.5%)、“帰省・仕事”が758件(8.1%)、“なんとなく”が661件(7.1%)と続いている。

平均立寄数は、“神仏霊場”が3.0件と最も多く、次いで、“名所旧跡”が2.6件、“自然見物”と“食べ物”が2.5件、“休養”と“祭り”が2.3件と続いている。

・旅行目的ごとの立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めているが、“アウトドア”は「黒潮・四万十市」が、“神仏霊場”は「土佐清水・大月」が、“買い物”は「須崎・中土佐」が最も多くなっている。

次いで、“名所旧跡”や“帰省・仕事”などは「南国・香美」が、“自然見物”は「土佐清水・大月」が、“食べ物”と“休養”は「須崎・中土佐」が、“買い物”と“なんとなく”は「東洋・室戸」が、“アウトドア”は「高知」が、“神仏霊場”は「宿毛・三原」が多くなっている。

- **名所旧跡(n=890)**:「南国・香美」と「高知」で旅行目的別の1位、「香南」で2位となっている。その他では、「須崎・中土佐」が全体平均を下回っている。
- **自然見物(n=725)**:「奈半利・田野等」で旅行目的別の1位、「安芸・芸西」と「梶原・津野」で2位となっている。その他では、「高知」が全体平均を下回っている。
- **食べ物(n=648)**:「須崎・中土佐」で旅行目的別の2位となっている。その他では、「高知」が全体平均を大きく上回っている。
- **帰省・仕事(n=375)**:旅行目的別の順位、全体平均との比較でも目立った市町村はない。
- **なんとなく(n=342)**:「梶原・津野」で旅行目的別の1位、「東洋・室戸」などで2位となっている。その他では、「いの」が全体平均を大きく上回っている。
- **買い物(n=229)**:「東洋・室戸」、「いの」、「須崎・中土佐」などで旅行目的別の1位となっている。その他では、「高知」、「土佐清水・大月」、「南国・香美」が全体平均を大きく下回っている。
- **休養(n=228)**:「須崎・中土佐」で旅行目的別の3位となっている。
- **アウトドア(n=159)**:「黒潮・四万十市」で旅行目的別の1位、「本山・大豊等」、「いの」、「土佐清水・大月」で2位となっている。その他では、「南国・香美」が全体平均を大きく下回っている。
- **神仏霊場(n=147)**:「土佐清水・大月」、「宿毛・三原」、「四万十町」、「土佐・日高」で旅行目的別の1位となっている。その他では、「東洋・室戸」が全体平均を大きく上回っており、「高知」、「南国・香美」が大きく下回っている。
- **祭り(n=145)**:「本山・大豊等」と「佐川・越知等」で旅行目的別の1位、「高知」で2位となっている。その他では、「須崎・中土佐」が全体平均を大きく下回っている。

3. 周遊ルート分析

- 分析内容について

この項目では、令和元(平成31)年観光統計調査で得られた、「訪問した(する予定の)観光地」データを基に、旅行者(発地ブロック別、旅行形態別)がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その周遊性の高いルートを分析している。

- 集計方法について

- ・ 「訪問した(する予定の)観光地」を下記の周遊7エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。
※例 「高知市」-「高知市」-「東部」の場合、「高知市」-「東部」として集計。
- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の5ブロックからは入込が少数のため、この5ブロックを合計し、“その他”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊7エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村

物部川 : 香南市、南国市、香美市

高知市 : 高知市

仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町

高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町

幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町

嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

● 調査結果の概要

県外旅行者全体の周遊ルート(P165)は、「高知市」のみが15.8%と最も多く、上位4位までを単一エリアで観光を終える周遊ルートが占めている。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「物部川」、または「幡多」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

発地別での傾向

- **四国**:「東部」のみが特に多く、複数エリアを組み合わせた周遊ルートは少ない。他の県外ブロックと比べ、「東部」のみ、「物部川→高知市」などは最も多く、「高知市」のみなどは最も少ない。(P167・168)
- **近畿**:上位10位の周遊ルートは、「高知市」、「幡多」、「東部」、「物部川」の4エリアだけで構成されている。他の県外ブロックと比べ、「幡多」のみは最も多い。(P169・170)
- **中国**:他の県外ブロックと比べ、「高知市→物部川」は最も多く、「高知市」のみは四国に次いで少ない。(P171・172)
- **関東**:上位4位の周遊ルートは、「高知市」と「幡多」の2エリアだけで構成されている。他の県外ブロックと比べ、「幡多」のみや、「東部」のみなどは最も少ない。(P173・174)
- **その他ブロック**:上位4位の周遊ルートは、「高知市」と「幡多」の2エリアだけで構成されている。他の県外ブロックと比べ、「高知市」のみなどは最も多く、「物部川」のみなどは最も少ない。(P175・176)
- **高知県**:「東部」のみが最も多く、単一エリアで観光を終える周遊ルートで9割以上を占めている。(P177・178)

旅行形態別での傾向

- **家族**:単一エリアで観光を終える周遊ルートが6割を占める。他の旅行形態と比べ、「物部川」のみや「物部川→高知市」などは最も多い。「高知市」のみは最も少ない。(P179・180)
- **友人・知人**:単一エリアで観光を終えるルートで5割以上を占める。他の旅行形態と比べ、「幡多→高知市」のみは最も多い。(P181・182)
- **団体**:「高知市」のみで4割以上を占める。他の旅行形態と比べ、「高知市」のみや、「東部→高知市」は最も多く、「幡多」のみ、「東部」のみは最も少ない。(P183・184)
- **一人**:単一エリアで観光を終えるルートで6割以上を占める。他の旅行形態と比べ、「幡多」のみ、「東部」のみなどは最も多く、「物部川→高知市」や「高知市→物部川」などは最も少ない。(P185・186)

3-1. 発地別周遊ルート

3-1-1. 県外旅行者全体

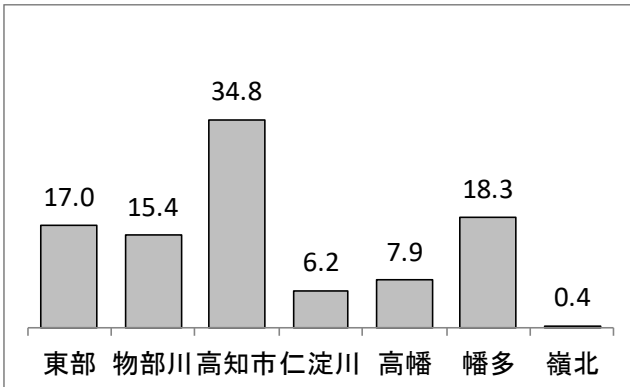
(表 3-1)周遊ルート上位 10 位(件・%) [県外全体]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	459	15.8%
幡多	323	11.1%
東部	269	9.2%
物部川	203	7.0%
物部川 → 高知市	142	4.9%
高知市 → 物部川	134	4.6%
高幡	100	3.4%
高知市 → 幡多	97	3.3%
幡多 → 高知市	90	3.1%
東部 → 高知市	76	2.6%

県外旅行者 2,912 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 15.8%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 11.1%、「東部」のみが 9.2%、「物部川」のみが 7.0%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位4位までを占めている。

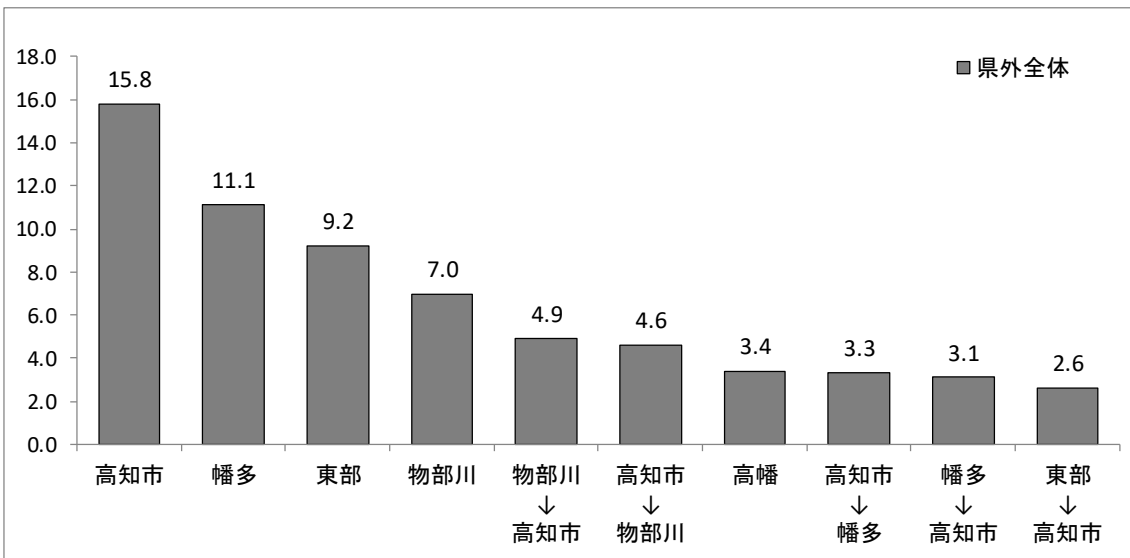
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 4.9%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 4.6%、「高知市→幡多」が 3.3%、「幡多→高知市」が 3.1%と続いております。「高知市」と「物部川」、または「幡多」を組み合わせた周遊ルートが上位を占めている。

(図 3-1)周遊ルート of 玄関口 (%) [県外全体]



旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が 34.8%と最も多く、次いで「幡多」が 18.3%、「東部」が 17.0%、「物部川」が 15.4%、「高幡」が 7.9%、「仁淀川」が 6.2%、「嶺北」が 0.4%と続いている。

(図 3-2)周遊ルート上位 10 位 (%) [県外全体]



3-1-2. 四国

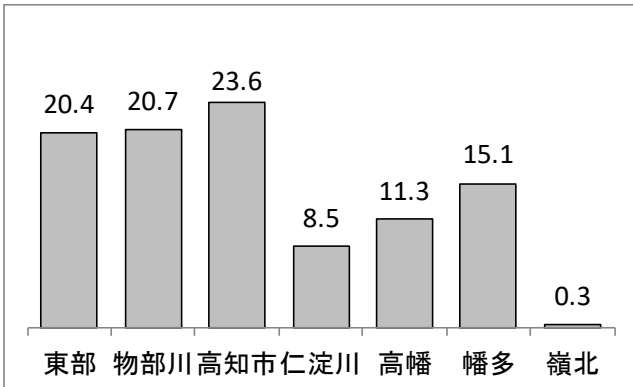
(表 3-2)周遊ルート上位 10 位(件・%) [四国3県]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	158	15.7%
高知市	128	12.7%
幡多	125	12.4%
物部川	114	11.3%
高幡	68	6.7%
物部川 → 高知市	66	6.5%
高知市 → 物部川	43	4.3%
仁淀川	31	3.1%
仁淀川 → 高知市	26	2.6%
高幡 → 幡多	23	2.3%

高知県をのぞく四国3県の旅行者 1,008 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 15.7%と最も多く、次いで、「高知市」のみが 12.7%、「幡多」のみが 12.4%、「物部川」のみが 11.3%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位5位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 6.5%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 4.3%、「仁淀川→高知市」が 2.6%、「高幡→幡多」が 2.3%と続いている。

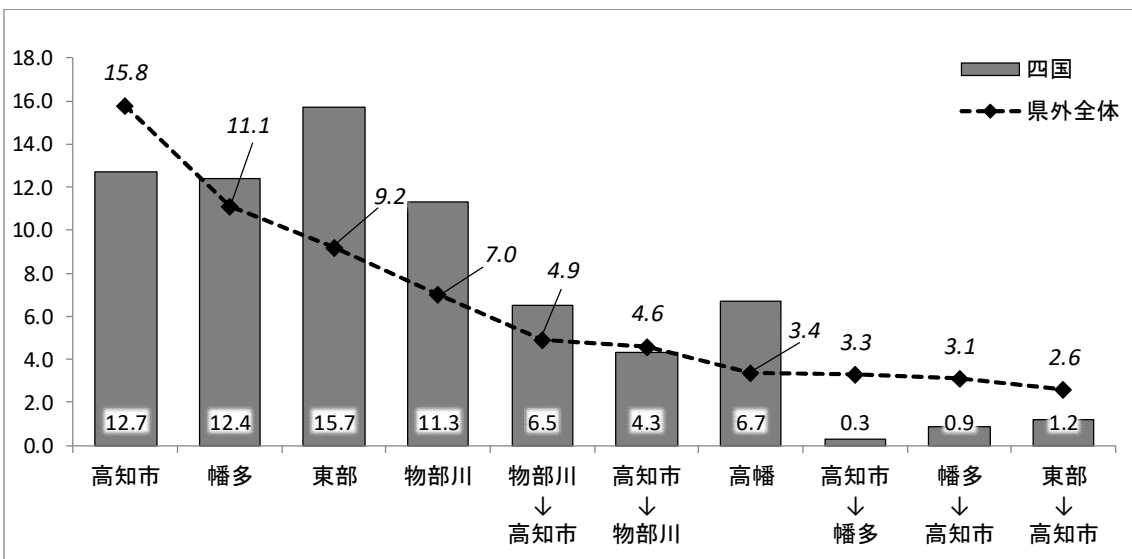
(図 3-3) 周遊ルート of 玄関口 (%) [四国3県]



旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「高知市」が 23.6%と最も多く、次いで、「物部川」が 20.7%、「東部」が 20.4%、「幡多」が 15.1%、「高幡」が 11.3%、「仁淀川」が 8.5%、「嶺北」が 0.3%と続いている。

なお、「物部川」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P187:参考 1)。

(図 3-4) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [四国3県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートと、「物部川→高知市」が目立って多くなっている一方で、「高知市」のみや、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが少なくなっている。

3-1-3. 近畿

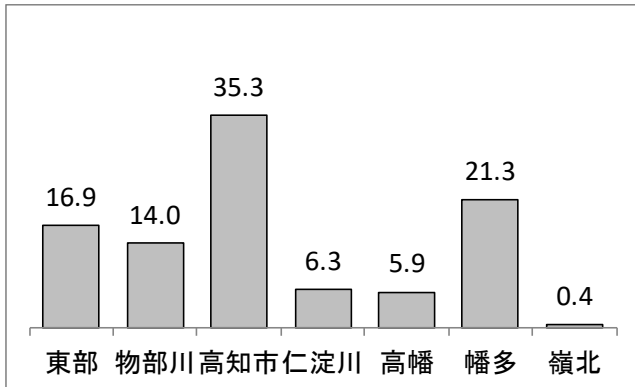
(表 3-3)周遊ルート上位 10 位(件・%) [近畿]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	120	15.6%
幡多	98	12.8%
東部	52	6.8%
物部川	44	5.7%
高知市 → 物部川	35	4.6%
東部 → 高知市	30	3.9%
物部川 → 高知市	27	3.5%
高知市 → 幡多	26	3.4%
高知市 → 東部	23	3.0%
幡多 → 高知市	22	2.9%

近畿ブロックの旅行者 767 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 15.6%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 12.8%、「東部」のみが 6.8%、「物部川」のみが 5.7%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位4位までを占めている。

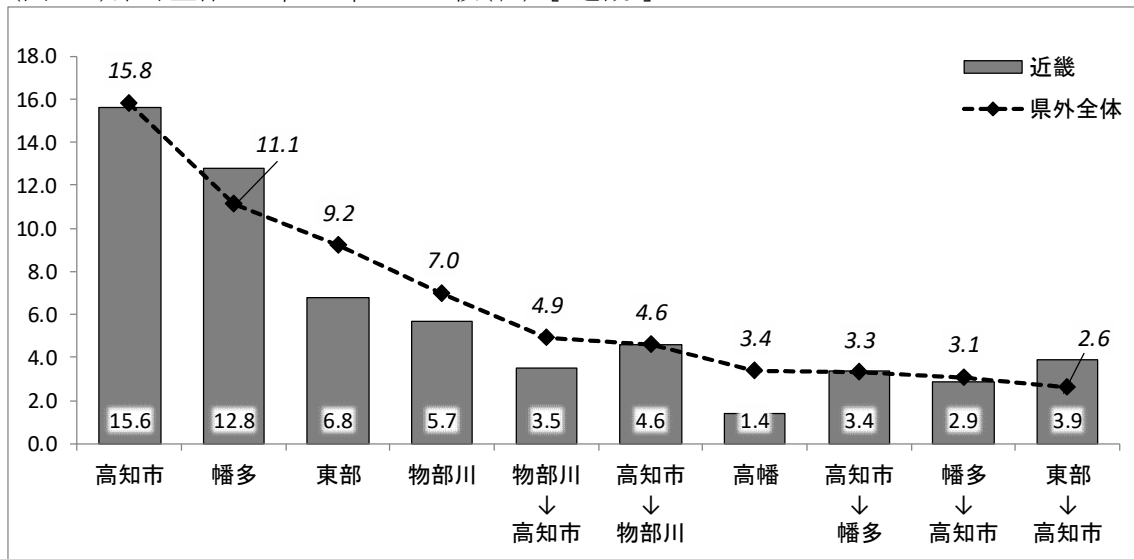
他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→物部川」が 4.6%と最も多く、次いで、「東部→高知市」が 3.9%、「物部川→高知市」が 3.5%、「高知市→幡多」が 3.4%と続いている。

(図 3-5)周遊ルートの玄関口(%) [近畿]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 35.3%と最も多く、次いで、「幡多」が 21.3%、「東部」が 16.9%、「物部川」が 14.0%、「仁淀川」が 6.3%、「高幡」が 5.9%、「嶺北」が 0.4%と続いている。

(図 3-6)県外全体の上位 10 位との比較(%) [近畿]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」「物部川」「高幡」の単一エリアで観光を終える周遊ルートと「物部川→高知市」が少なくなっている一方で、「幡多」のみと「東部→高知市」が多くなっている。

3-1-4. 中国

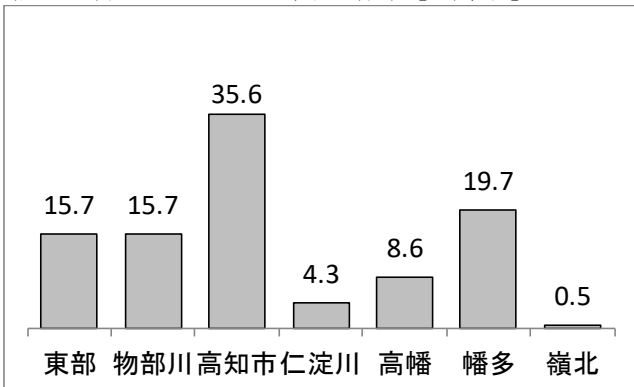
(表 3-4)周遊ルート上位 10 位(件・%) [中国]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	60	15.2%
幡多	47	11.9%
東部	27	6.8%
物部川	27	6.8%
高知市 → 物部川	23	5.8%
物部川 → 高知市	19	4.8%
高幡	15	3.8%
東部 → 高知市	15	3.8%
幡多 → 高知市	11	2.8%
高知市 → 幡多	10	2.5%

中国ブロックの旅行者 396 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 15.2%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 11.9%、「東部」のみと「物部川」のみが 6.8%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位4位までを占めている。

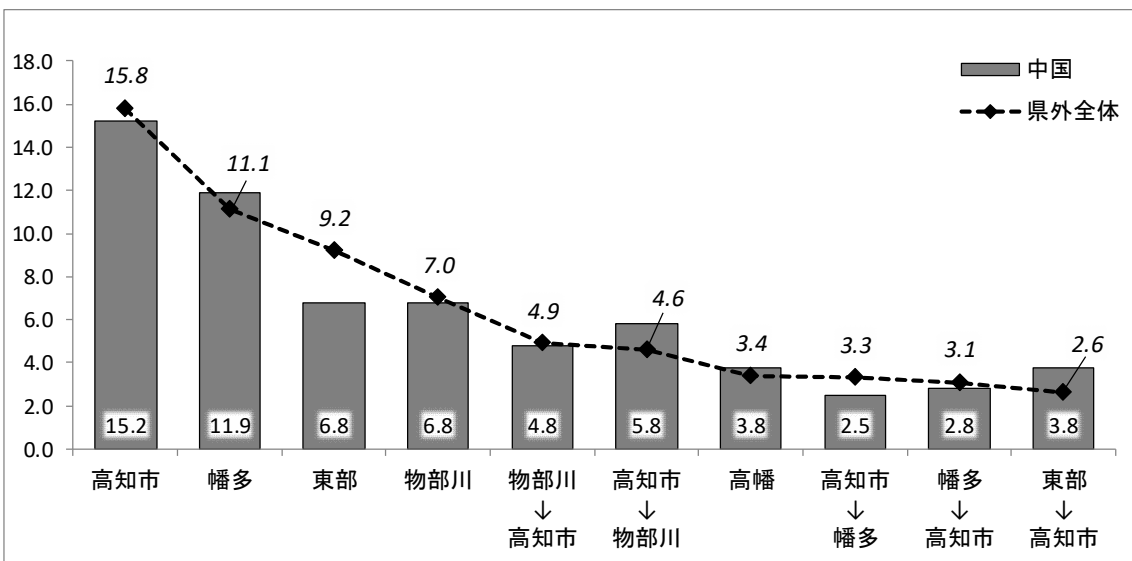
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→物部川」が 5.8%と最も多く、次いで、「物部川→高知市」が 4.8%、「東部→高知市」が 3.8%、「幡多→高知市」が 2.8%と続いており、「高知市」といずれかのエリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

(図 3-7) 周遊ルート of 玄関口 (%) [中国]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 35.6% と最も多く、次いで、「幡多」が 19.7%、「東部」と「物部川」が 15.7%、「高幡」が 8.6%、「仁淀川」が 4.3%、「嶺北」が 0.5% と続いている。

(図 3-8) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [中国]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市→物部川」や「東部→高知市」などが多くなっている一方で、「東部」のみが少なくなっている。

3-1-5. 関東

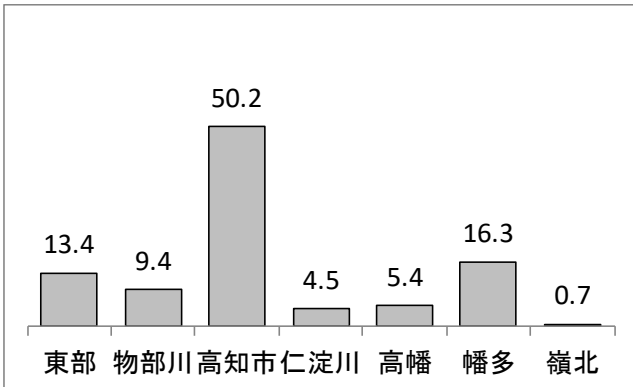
(表 3-5)周遊ルート上位 10 位(件・%) [関東]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	84	19.8%
高知市 → 幡多	33	7.8%
幡多 → 高知市	26	6.1%
幡多	23	5.4%
高知市 → 物部川	23	5.4%
物部川 → 高知市	17	4.0%
高知市 → 東部	17	4.0%
東部	16	3.8%
東部 → 高知市	12	2.8%
物部川	11	2.6%

関東ブロックの旅行者 424 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 19.8%と最も多く、次いで、「高知市→幡多」が 7.8%、「幡多→高知市」が 6.1%、「幡多」のみが 5.4%と続いており、「高知市」と「幡多」を含む周遊ルートが上位4位を占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→幡多」が 7.8%と最も多く、次いで、「幡多→高知市」が 6.1%、「高知市→物部川」が 5.4%、「物部川→高知市」が 4.0%と続いており、「高知市」と「幡多」、または「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

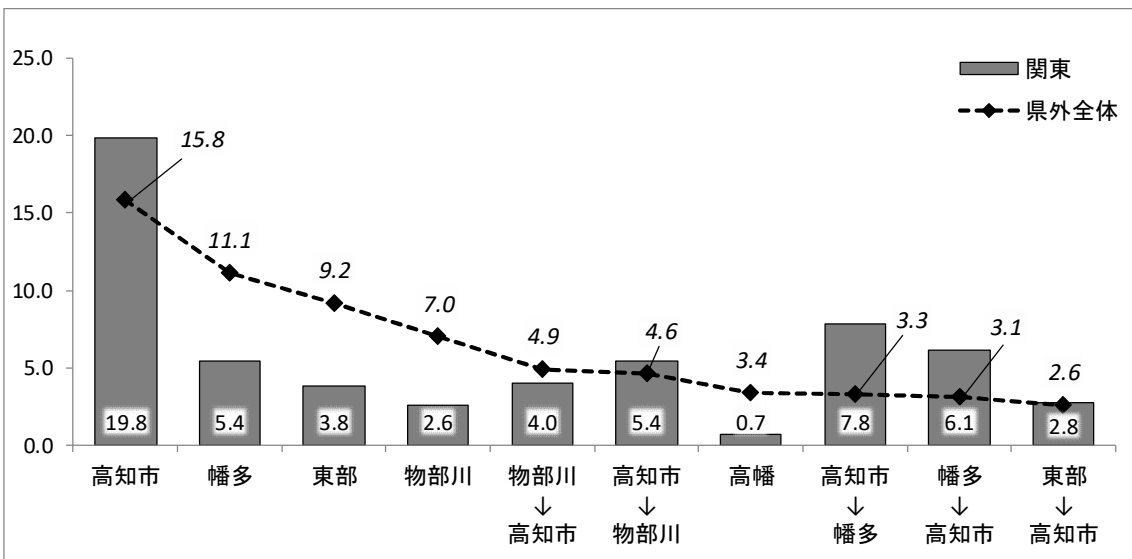
(図 3-9)周遊ルート of 玄関口 (%) [関東]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 50.2%と最も多く、次いで「幡多」が 16.3%、「東部」が 13.4%、「物部川」が 9.4%、「高幡」が 5.4%、「仁淀川」が 4.5%、「嶺北」が 0.7%と続いている。

なお、「高知市」と「嶺北」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P187:参考 1)。

(図 3-10) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [関東]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみや、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている一方で、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートは目立って少なくなっている。

3-1-6. その他(北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外)

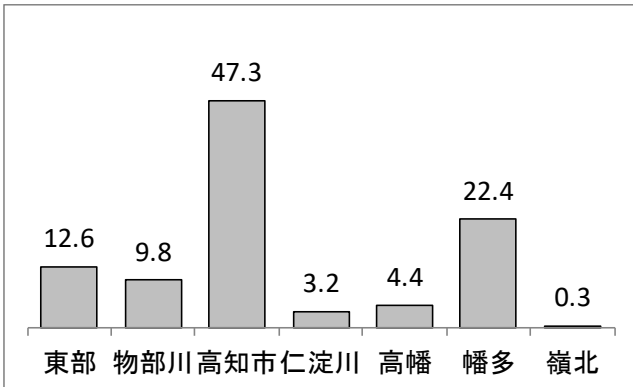
(表 3-6)周遊ルート上位 10 位(件・%) [その他]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	67	21.1%
幡多	30	9.5%
高知市 → 幡多	25	7.9%
幡多 → 高知市	22	6.9%
東部	16	5.0%
物部川 → 高知市	13	4.1%
高知市 → 物部川	10	3.2%
高知市 → 仁淀川	8	2.5%
高知市 → 東部	7	2.2%
東部 → 高知市	7	2.2%

その他5ブロックの旅行者 317 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 21.1%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 9.5%、「高知市→幡多」が 7.9%、「幡多→高知市」が 6.9%と続いており、「高知市」と「幡多」を含む周遊ルートが上位4位を占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→幡多」が 7.9%と最も多く、次いで、「幡多→高知市」が 6.9%、「物部川→高知市」が 4.1%、「高知市→物部川」が 3.2%と続いており、「高知市」と「幡多」、または「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

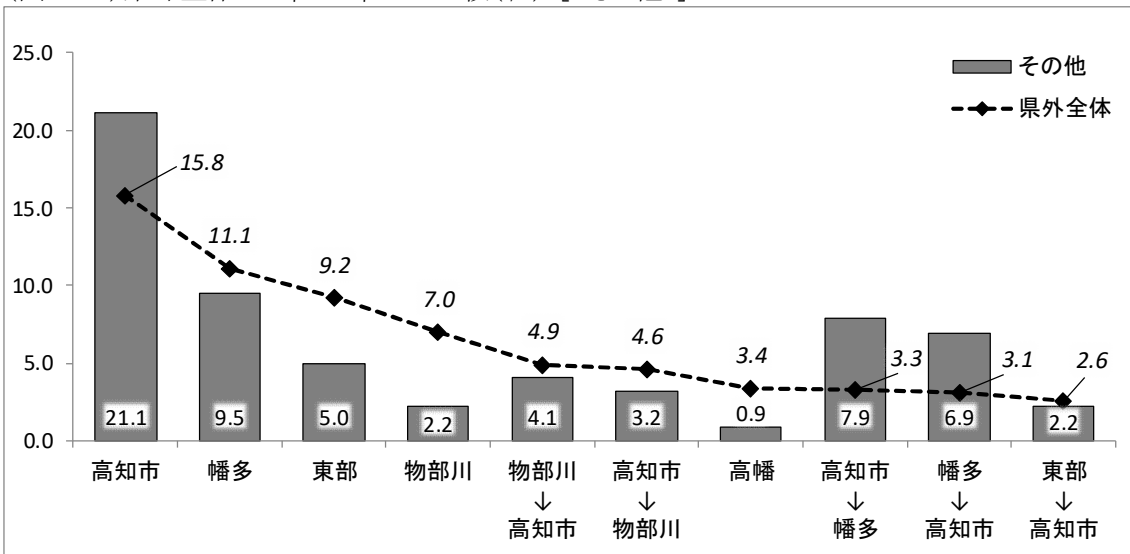
(図 3-11)周遊ルートの玄関口(%) [その他]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 47.3%と最も多く、次いで、「幡多」が 22.4%、「東部」が 12.6%、「物部川」が 9.8%、「高幡」が 4.4%、「仁淀川」が 3.2%、「嶺北」が 0.3%と続いている。

なお、「幡多」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P187:参考 1)。

(図 3-12)県外全体の上位 10 位との比較(%) [その他]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみや「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが少なくなっている。

3-1-7. 高知県

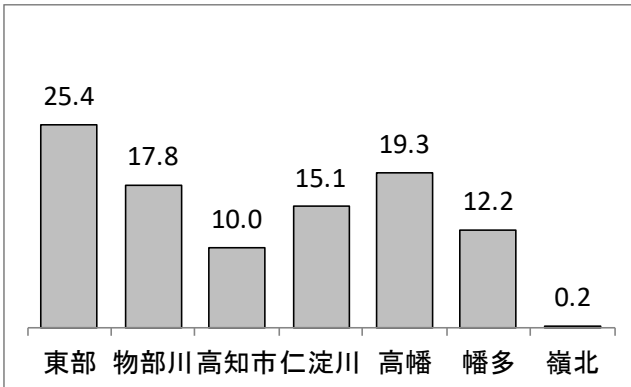
(表 3-7)周遊ルート上位 10 位(件・%) [高知県]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	265	24.4%
高幡	189	17.4%
物部川	168	15.4%
仁淀川	157	14.4%
幡多	126	11.6%
高知市	101	9.3%
高幡 → 幡多	16	1.5%
物部川 → 東部	13	1.2%
物部川 → 高知市	11	1.0%
幡多 → 高幡	5	0.5%

県内旅行者 1,088 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 24.4%と最も多く、次いで、「高幡」のみが 17.4%、「物部川」のみが 15.4%、「仁淀川」のみが 14.4%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位まで、割合では 92.5%と大半を占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高幡→幡多」が 1.5%と最も多く、次いで、「物部川→東部」が 1.2%、「物部川→高知市」が 1.0%、「幡多→高幡」が 0.5%と続いており、隣り合ったエリアを組み合わせた周遊ルートが多いものの、その割合はいずれも非常に少なくなっている。

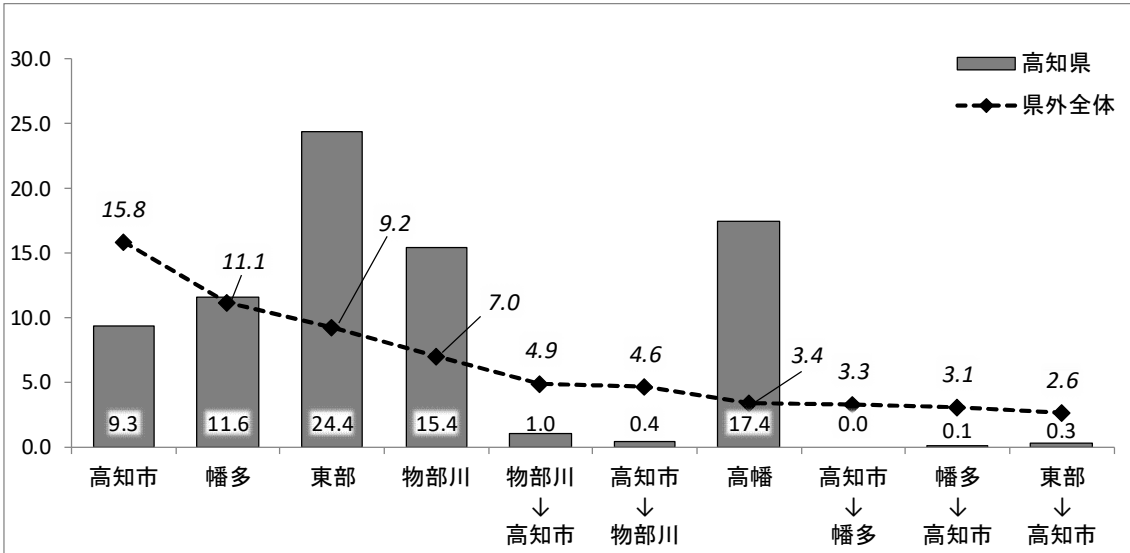
(図 3-13)周遊ルートの玄関口(%) [高知県]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が25.4%と最も多く、次いで、「高幡」が19.3%、「物部川」が17.8%、「仁淀川」が15.1%、「幡多」が12.2%、「高知市」が10.0%、「嶺北」が0.2%と続いている。

なお、「東部」、「仁淀川」、「高幡」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P187:参考1)。

(図 3-14) 県外全体の上位 10 位との比較(%) [高知県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「物部川」、「高幡」の単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「高知市」のみや、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが少なくなっている。

3-2. 旅行形態別周遊ルート

3-2-1. 家族

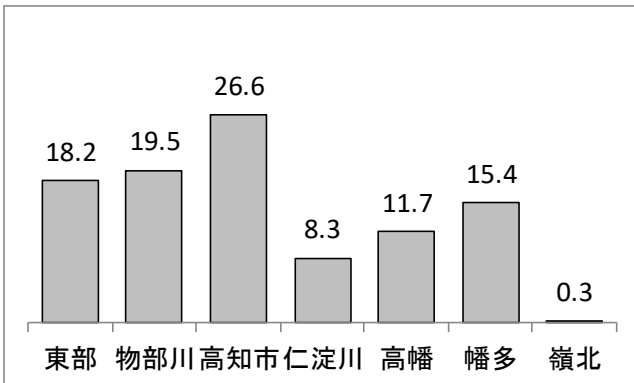
(表 3-8)周遊ルート上位 10 位(件・%) [家族]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	356	12.8%
高知市	342	12.3%
物部川	321	11.6%
幡多	283	10.2%
高幡	227	8.2%
仁淀川	136	4.9%
物部川 → 高知市	128	4.6%
高知市 → 物部川	107	3.9%
高知市 → 幡多	62	2.2%
高知市 → 東部	60	2.2%

家族旅行 2,773 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 12.8%と最も多く、次いで、「高知市」のみが 12.3%、「物部川」のみが 11.6%、「幡多」のみが 10.2%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 4.6%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 3.9%、「高知市→幡多」が 2.2%、「高知市→東部」が 2.2%と続いており、「高知市」といずれかのエリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

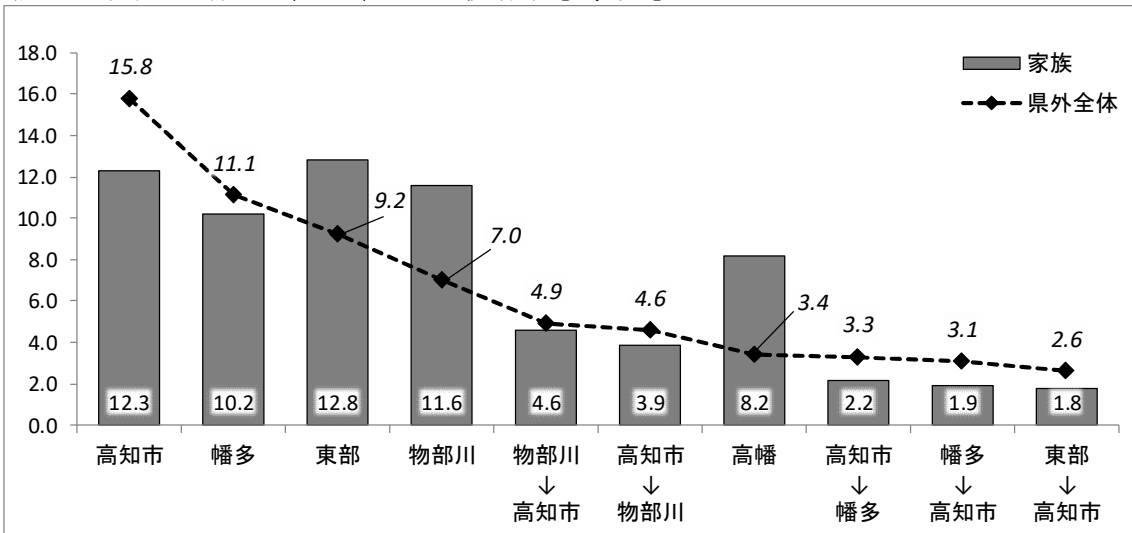
(図 3-15)周遊ルート of 玄関口 (%) [家族]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 26.6%と最も多く、次いで、「物部川」が 19.5%、「東部」が 18.2%、「幡多」が 15.4%、「高幡」が 11.7%、「仁淀川」が 8.3%、「嶺北」が 0.3%と続いている。

なお、「物部川」と「高幡」の割合が旅行形態別で最も多くなっている(P187:参考 1)。

(図 3-16) 県内全体の上位 10 位との比較 (%) [家族]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「物部川」、「高幡」の単一エリアで観光を終える割合が目立って多くなっている一方で、「高知市」のみや、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが少なくなっている。

3-2-2. 友人・知人

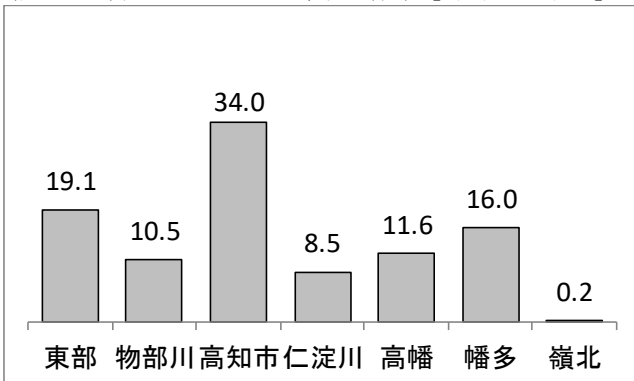
(表 3-9)周遊ルート上位 10 位(件・%) [友人・知人]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	92	16.7%
東部	71	12.9%
幡多	58	10.5%
高幡	42	7.6%
仁淀川	31	5.6%
物部川	27	4.9%
高知市 → 物部川	21	3.8%
幡多 → 高知市	21	3.8%
物部川 → 高知市	16	2.9%
高知市 → 幡多	15	2.7%

友人・知人との旅行者 550 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 16.7%と最も多く、次いで、「東部」のみが 12.9%、「幡多」のみが 10.5%、「高幡」のみが 7.6%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位までを占めている。

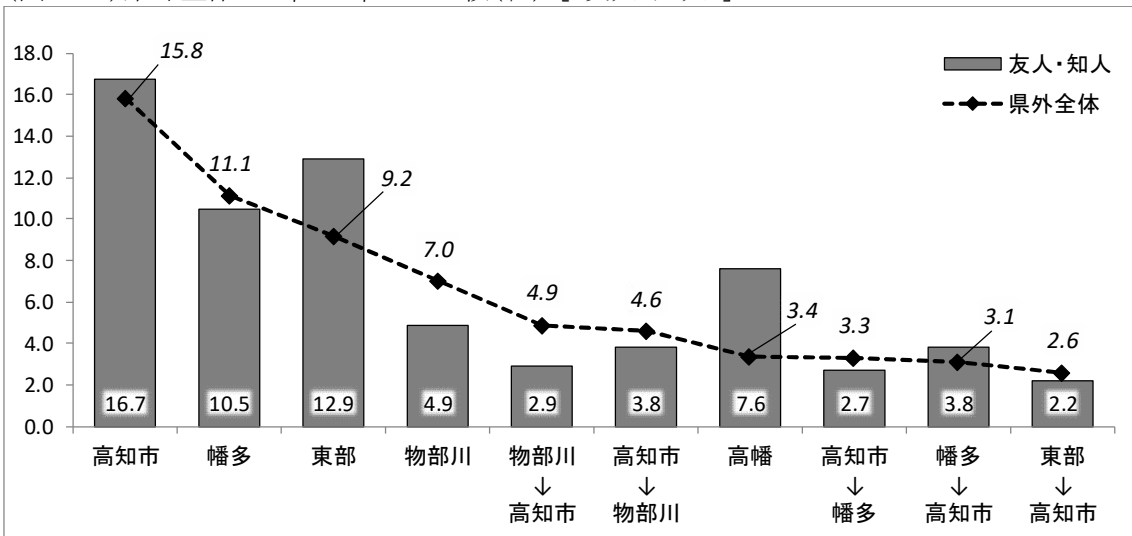
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→物部川」と「幡多→高知市」が 3.8%と最も多く、「物部川→高知市」が 2.9%、「高知市→幡多」が 2.7%と続いており、「高知市」と「物部川」、または「幡多」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

(図 3-17) 周遊ルート of 玄関口 (%) [友人・知人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 34.0% と最も多く、次いで、「東部」が 19.1%、「幡多」が 16.0%、「高幡」が 11.6%、「物部川」が 10.5%、「仁淀川」が 8.5%、「嶺北」が 0.2% と続いている。

(図 3-18) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [友人・知人]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみなどが多くなっている一方で、「物部川」のみや、「物部川」と「高知市」を組み合わせた周遊ルートが少なくなっている。

3-2-3. 団体

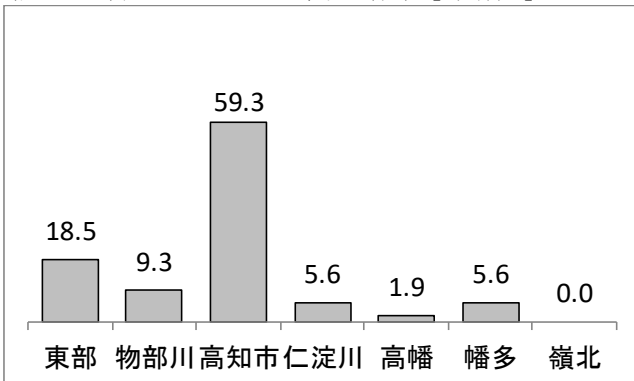
(表 3-10)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [団体]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	22	40.7%
東部 → 高知市	5	9.3%
東部	4	7.4%
幡多	2	3.7%
仁淀川	2	3.7%
物部川	2	3.7%
高知市 → 物部川	2	3.7%
物部川 → 高知市	2	3.7%
高知市 → 東部 → 物部川	2	3.7%
高知市 → 幡多 → 高知市	2	3.7%

団体旅行 54 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 40.7%と最も多く、次いで「東部→高知市」が 9.3%、「東部」のみが 7.4%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「東部→高知市」が 9.3%と最も多くなっている。

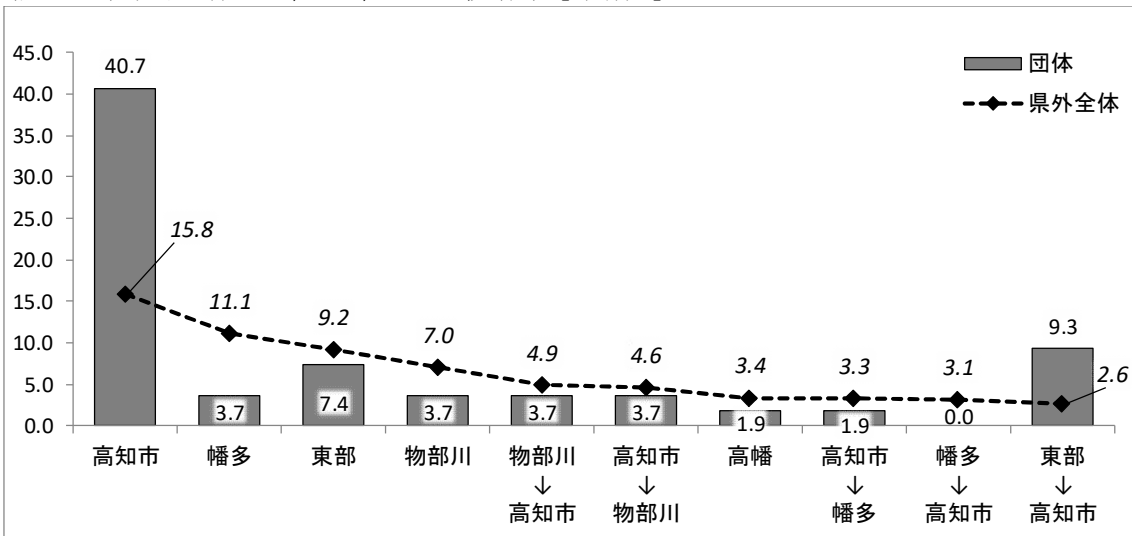
(図 3-19) 周遊ルート of 玄関口 (%) [団体]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 59.3% と最も多く、次いで、「東部」が 18.5%、「物部川」が 9.3%、「仁淀川」と「幡多」がそれぞれ 5.6%、「高幡」が 1.9% と続いている。

なお、「高知市」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P187: 参考 1)。

(図 3-20) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [団体]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみや「東部→高知市」が目立って多くなっている一方で、「幡多」のみが目立って少なくなっている。

3-2-4. 一人

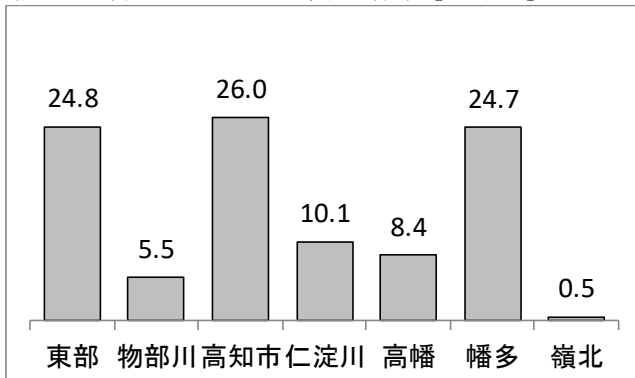
(表 3-11)周遊ルート上位 10 位(件・%) [一人]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	人数	割合
幡多	104	17.8%
東部	97	16.6%
高知市	92	15.8%
仁淀川	47	8.0%
高幡	19	3.3%
高知市 → 幡多	18	3.1%
物部川	16	2.7%
高幡 → 幡多	16	2.7%
幡多 → 高知市	15	2.6%
東部 → 高知市	11	1.9%

一人旅の旅行者 584 人の周遊ルートを見ると、「幡多」のみで観光を終える割合が 17.8%と最も多く、次いで、「東部」のみが 16.6%、「高知市」のみが 15.8%、「仁淀川」のみが 8.0%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位5位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→幡多」が 3.1%と最も多く、次いで、「高幡→幡多」が 2.7%、「幡多→高知市」が 2.6%、「東部→高知市」が 1.9%と続いており、「幡多」と他エリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

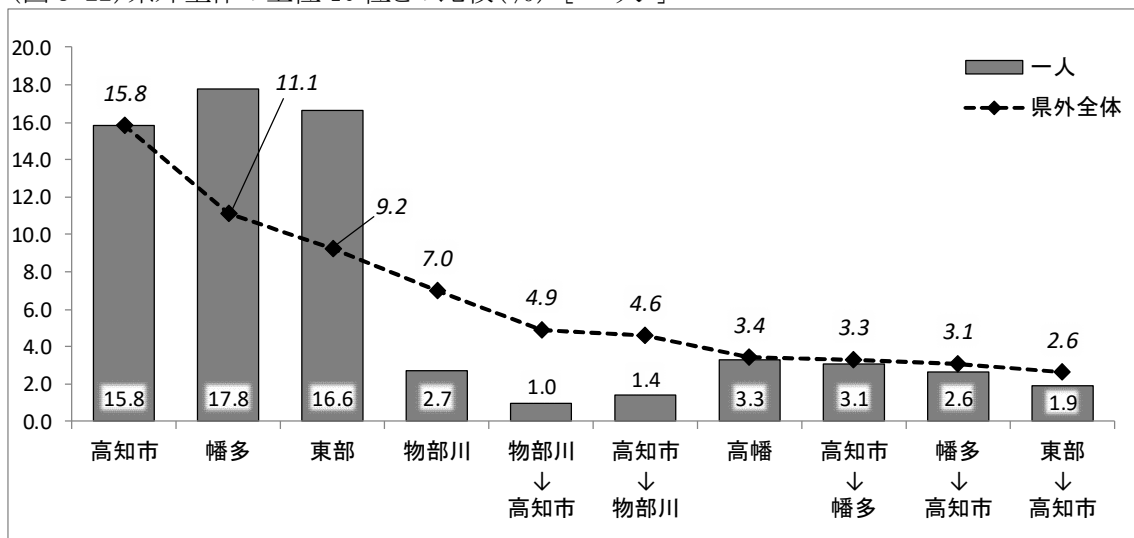
(図 3-21) 周遊ルートの玄関口 (%) [一人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 26.0%と最も多く、次いで、「東部」が 24.8%、「幡多」が 24.7%、「仁淀川」が 10.1%、「高幡」が 8.4%、「物部川」が 5.5%、「嶺北」が 0.5%と続いている。

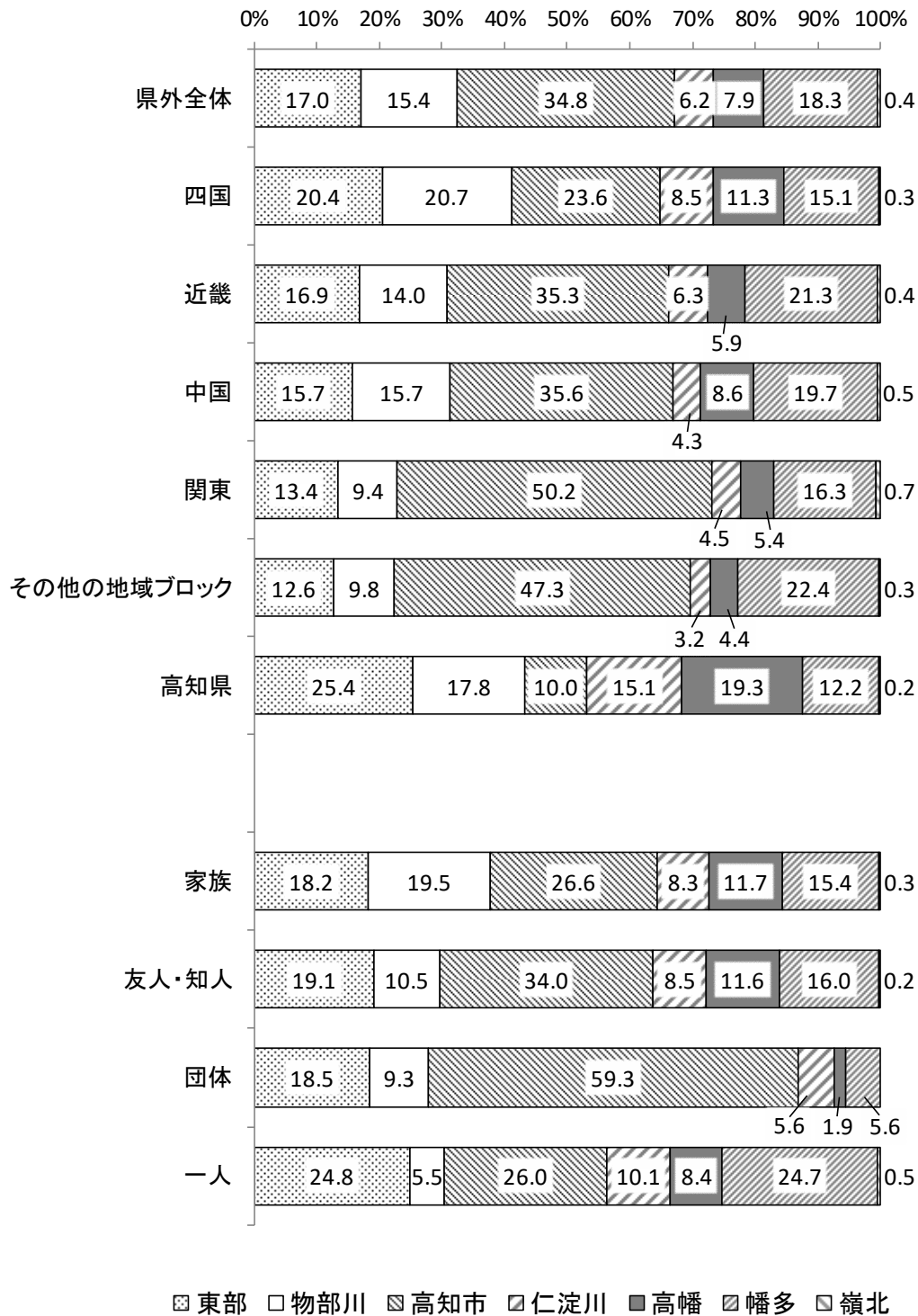
なお、「東部」、「仁淀川」、「幡多」、「嶺北」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P187: 参考 1)。

(図 3-22) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [一人]

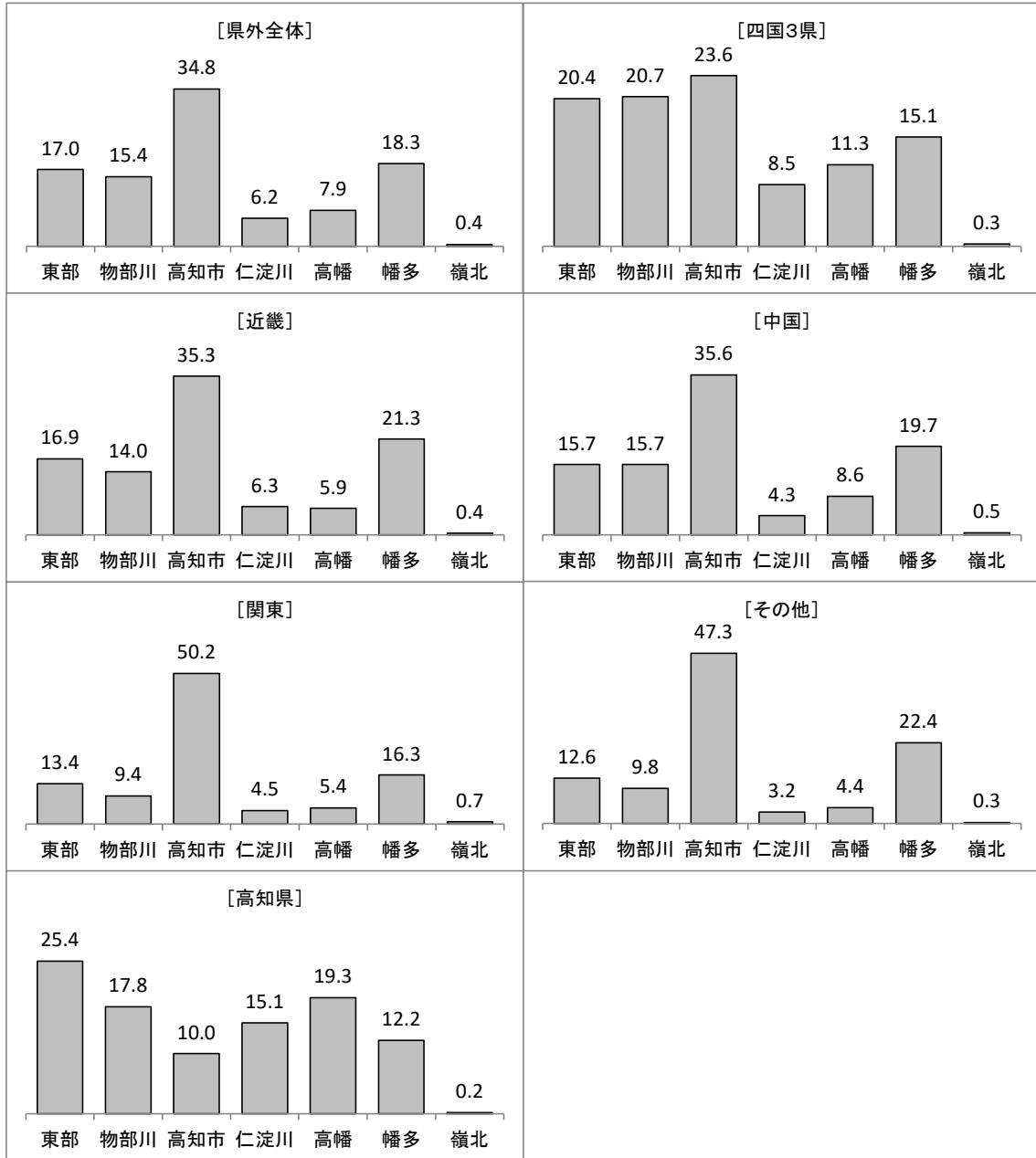


県外全体の上位 10 位との比較をみると、「幡多」のみ、「東部」のみが目立って多くなっている一方で、「物部川」を含む周遊ルートが目立って少なくなっている。

(参考 1)発地ブロック別・周遊旅行形態別周遊ルートの玄関口(%)



(参考 2)発地ブロック別周遊ルートの玄関口(%)



(参考 3)旅行形態別周遊ルートの玄関口(%)

